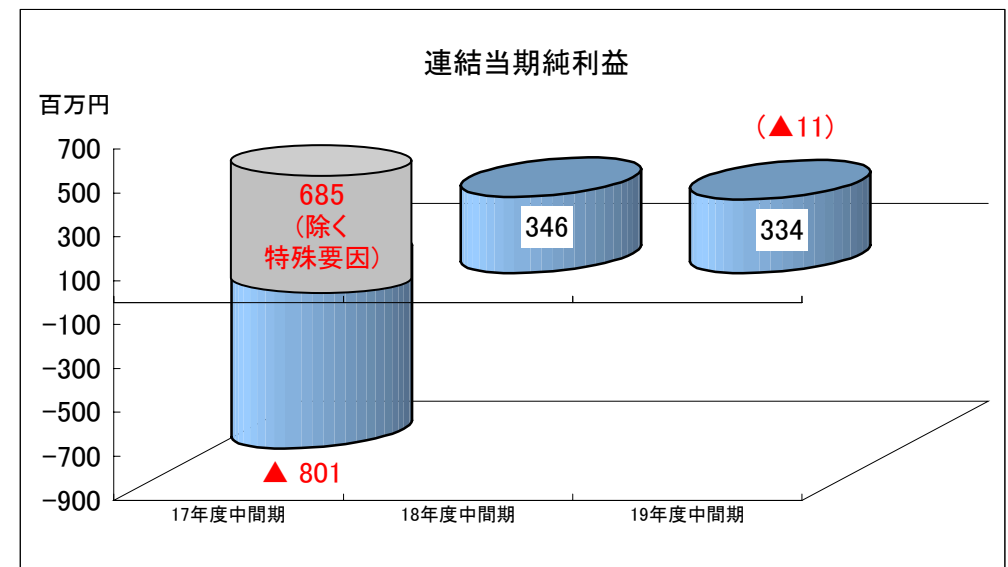
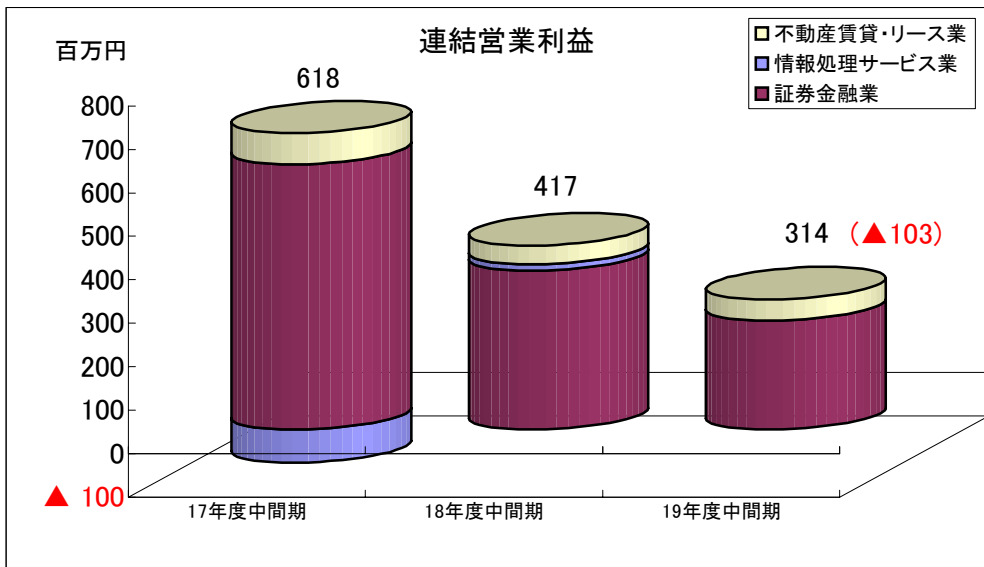
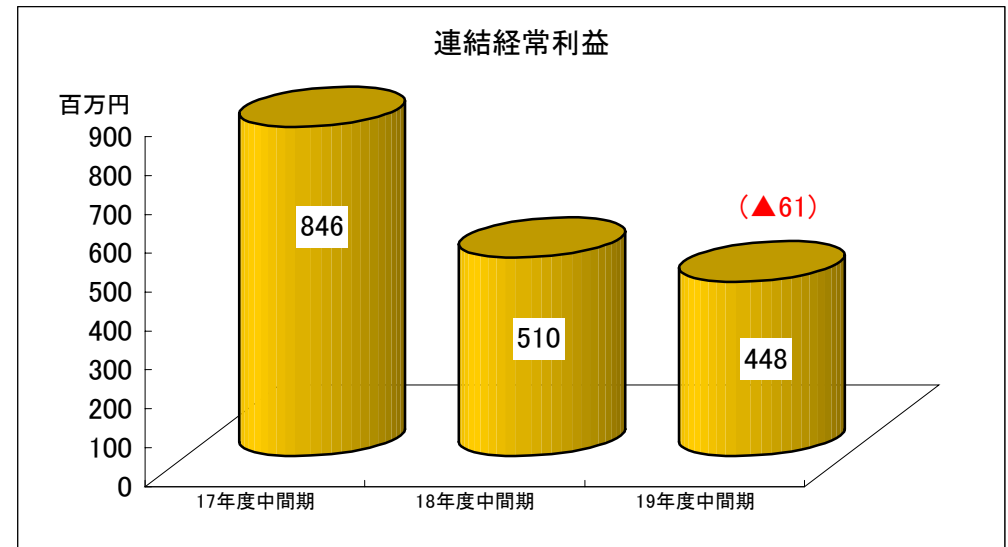
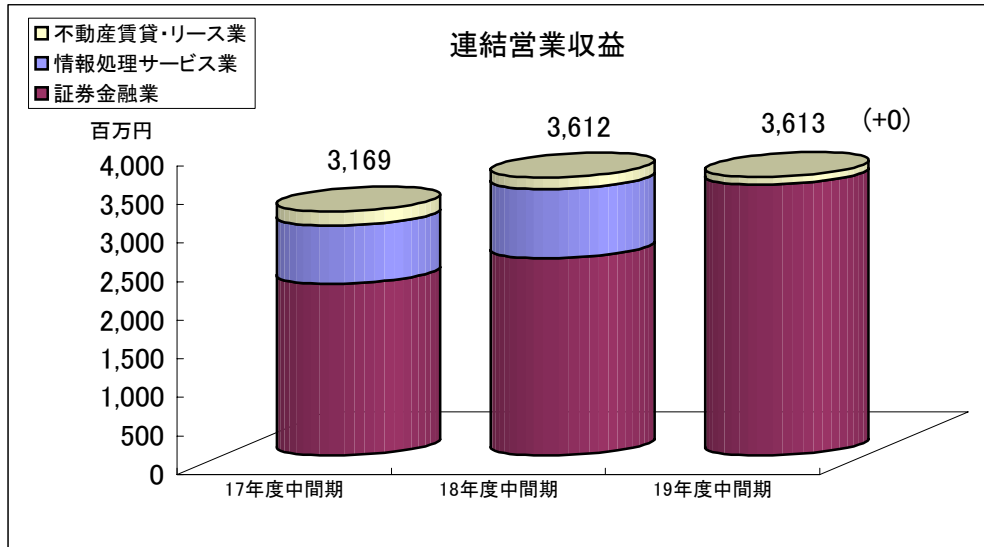


平成19年度中間期 連結決算の概要

☆営業収益は横ばいとなったものの、営業利益(▲24.7%)・経常利益(▲12.1%)・当期純利益(▲3.4%)はいずれも減益

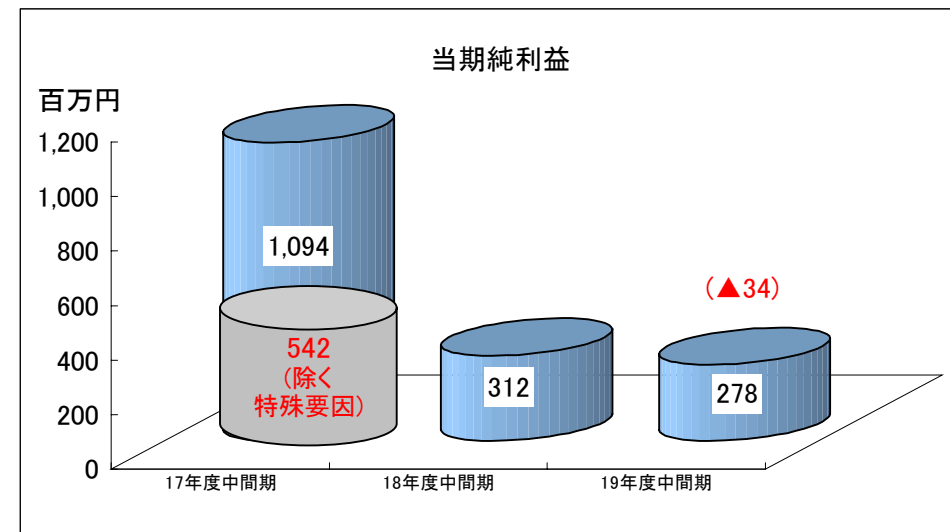
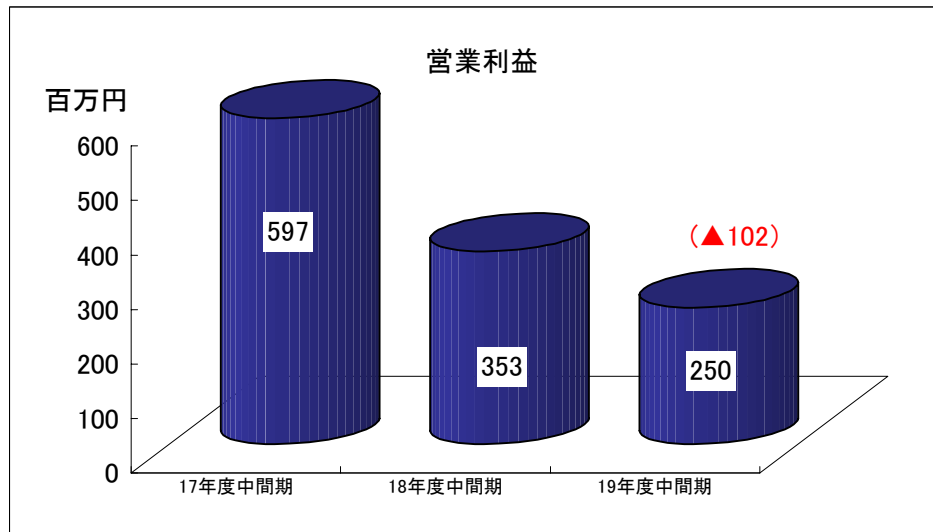
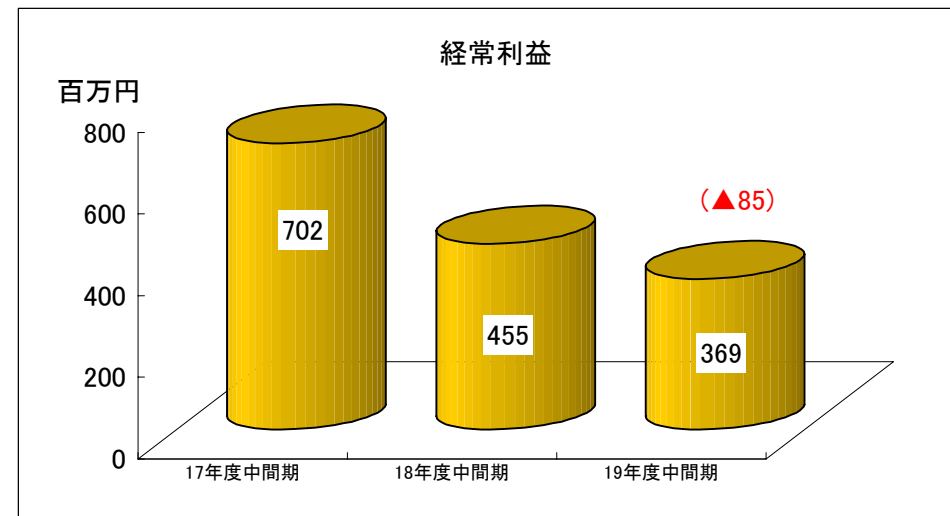
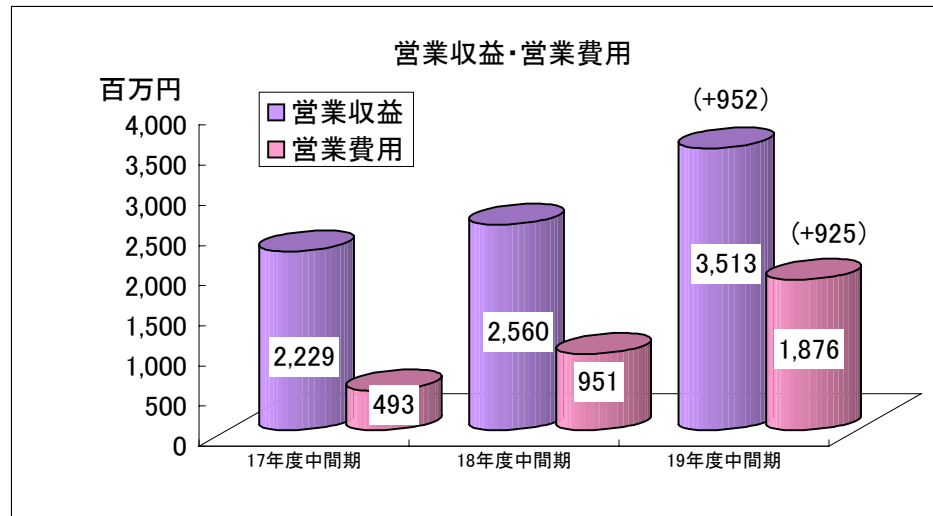


(注) 1 当年度第1四半期から、セグメント情報は次の区分変更等を行った結果、「証券金融業」と「不動産賃貸・リース業」の2区分になっております。
 ①ODKソリューションズが連結子会社から持分法適用会社へ異動したことに伴う「情報処理サービス業」の除外
 ②大証金ビルディングが行うリース業の金額的重要性が低下したため、「不動産賃貸・リース業」に集約
 2 だいこう証券ビジネスの子会社である日本クリアリングサービスにつきましては、だいこう証券ビジネスの持分法損益に含めて計算しております。

単体決算の概要

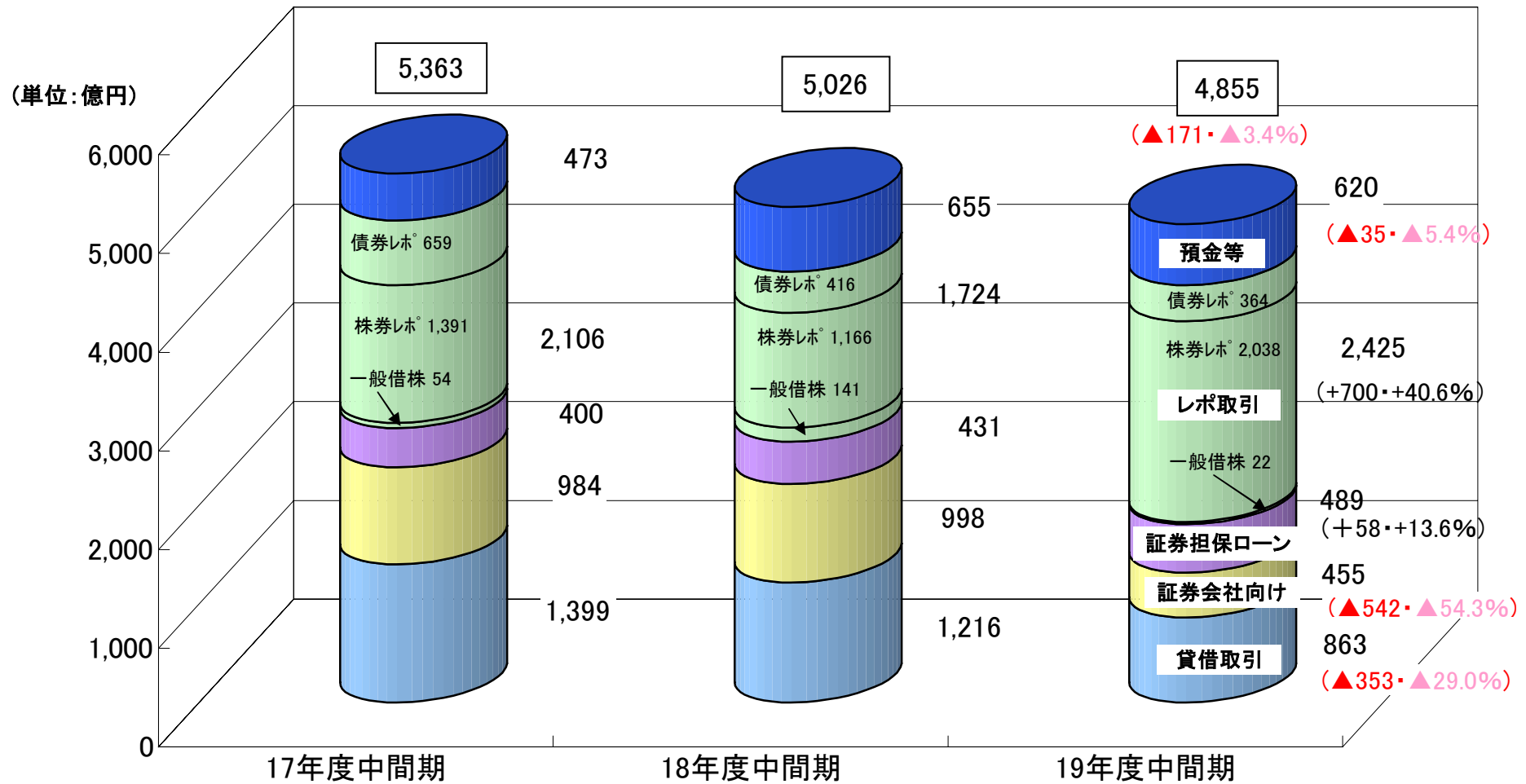
(1)収支状況

☆営業収益は増収(37.2%)となったものの、営業費用・一般管理費の増加により、
営業利益(▲29.1%)・経常利益(▲18.7%)・当期純利益(▲11.1%)はいずれも減益



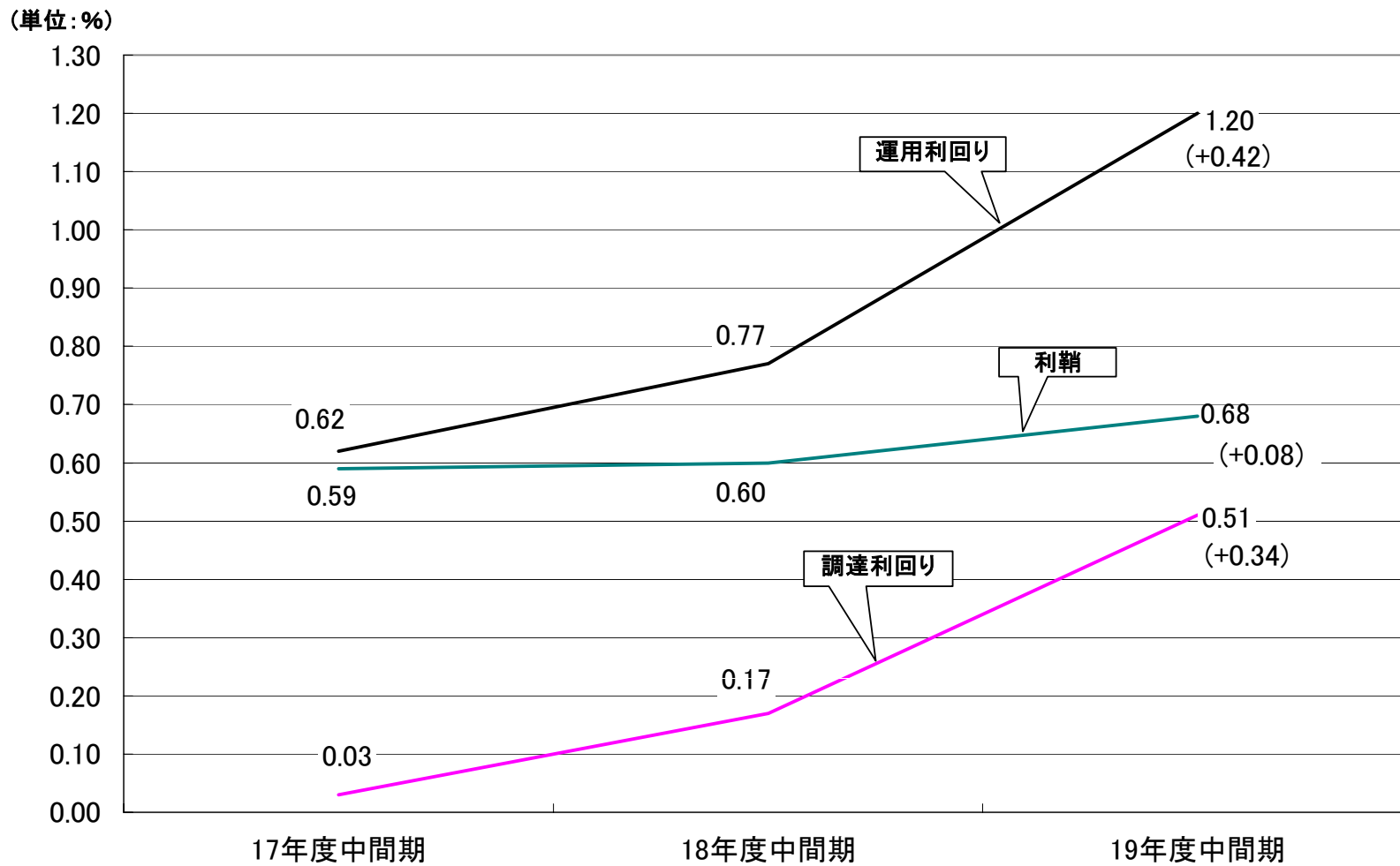
(2) 資金運用平均残高

☆貸借取引貸付金および信用サポートローン(証券会社向け)の減少により減少



(3) 運用・調達利回り、利鞘

☆市場金利の上昇に伴い、運用・調達利回りともに上昇、利鞘は拡大



(4) 利鞘収入

☆信用サポートローンが減収となったものの、レポ取引の増収を主因に増収

